

第八號

石兵團會報

十一月三十日
浦添國民學校

十二月一日(自後)分同様トスノ下士官ノ進級取扱ニ關シ左記事

項注意ノコト

一 曹長ノ進級區分ヲ誤ラザル如ク定員現在員上級職等ノ

關係ヲヨク研究スルマド誤リテ進級セシメタル際ハ取消ノ上

責任者ノ處置ヲ要スルコトナルニ付念ノ爲

二 伍長ヨリ軍曹ハ階級上ノ定員區分ナキ爲大ニ顧慮要ナシ

三 准尉ノ進級並ニ各部下士官ハ所管ニ於テ發令スルニ付右

同様トス

四 昭和十九年度召集尉官ノ考料表ハ作製セザルコトナリタルモ初任

時ノ考料表ハ作製シ上夫々進達スルモノナルニ付承知セラレ度(作製)



セザル八年度考科表ニシテ又召集尉官考科表ハ補修訂正ヲ加ヘタル際ノ事項ガ考科ニ大ナル影響有リ及ボス事項ハ時々所管ニ考科副本下付ヲ申出テ所管長官用ノ副本ヲモ訂正セシメ度
其他考科ニ大ナル影響有リ時々記載規定十二ノ(三)ニ基キ昭和二十年度ノ補修訂正事項欄ニ記入シテ報告セシメ度

三 考科表ヲ失セル際ノ處置ニ關シ十月四日石師副人考第三七ニ號ヲ以テ通牒セル所ナルモ今面ノ下士官ノ進級ノ爲ノ關係書類提出ニ方リ昭和十九年度分ノ考科表ヲ提出セル向キアリ當部ニ於テハ現役准士官曹長ノ昭和十七年度以降ノ副本ヲ所管ニ付下付願ヲ出シ整理セバ少ナクモ三年度分ハ整理出來得ルナリ現役軍曹日伍長及豫備役准士官以下分ハ獨立部隊長ニ於テ所管ニ付ルニヨリ又某程度迄整理出來得ルナリ各部隊ハ注意セシメ度

四 考科表規則第十三條ノ適用ニ關シ未ダ不分明ナル向キナントモ又電話口頭ニ云爲スルハ其ノ際ノ當事者ハ納得スベキモノ以外モハ納得セズ且一度本人ガ所管外ニ出テ或ハ年月ノ經過ト共ニ證據トナルベキ資料ナキニ至リタル時ハ誤リタル人事ヲナスニ基トナルニ至ルヲ以テ規則第十三條ヲ適用セシメ度

五 石第四三八部隊ヨリノ質疑ノ「戶籍法ノ適用ヲ受ケザル帝國臣民タル男子トハ如何ナルモノナリヤ」トハ半島人臺灣人樺太土人ナルモ關係法律ハ目下裁判所ニ就キ照會中

六 恩賞事項ニ關シ
恩給請求書類中本籍地並ニ現住所記載ニ方リ本籍地ト同シル現住所ヲ右ニ同シト記入シ處理スルモナルモ當部ニ於テ別ニ示ス迄ハ總テ本籍地同様記入セシメ度

2 死歿者之病名記載方リ脚氣衝心又ハ衝心脚氣等ト
記入スルモアルモ脚氣若クハ脚氣衝心ト記載セシ度

3 死証書並ニ死亡診断書ニ記載スベキ死亡時刻ニ二十四時間制ヲ
使用スルモアルモ二十四時間制ハ陸軍省及鐵道省ニ於テ之ニ實施シ
他ニ在リテ從來通りナリ戸籍抹消上必要ナル前項書類ニハ
午前午後ニ依リ時刻ヲ記入セシ度

4 恩賞關係書類中ノ部数不足ニシテ部隊ニ於テ寫ヲ調製セシ
場合ハ原本ト相違キ旨眞書証明ヲ部隊長ナシ捺印スルモト入
七 陸軍豫科士官學校生徒ヲ十月七日官報陸軍省告示第四十八號ヲ
以テ募集セシアルニ付承知セシレ度官報ハ當部ニアリ用紙ハ聯
隊區司令部ニアリ十月五日迄申出アスル用紙ハ當部ニテ聯隊
區請求交付ス

八 船角位 御賜ノ煙草ヲ御里ニ郵送スルハ支障ナキニ付承知ノユト

九 自動車事故ニ關シハ再三注意シアルトコロアルモ二十九日兵團地區内ニ
於テモ一件發生シ五歳ノ子供ヲ一名死亡セシメタリ事故ノ發生ハ般
ニ速度ノ速キ時又時荷馬車等追越サントセル時發進停止
時等ニ多キヲ以テ自動車所有ノ各隊ハ注意シ事故防止ニ徹底ノト

十 返納シ來レルコトラム罐ヲ調査スルニ尚殘滴アルモノアリ一滴ナリ
トモ殘ザル如ク使用ノト

十一 防疫ニ關シテハ各部隊ハ十分注意セラル所ナルモ地方側ニ於テハ
入院セス自宅ニ於テ療養シタルモノアルニ付各部隊ハ部隊位置
近傍ノ防疫ニモ注意セラレ度

十二 十月二日ヨリ沖繩縣廳ニ於テ本年度軍用保護馬ノ檢定ヲ左記
ノ通り實施スベキニ付部隊借上馬、徵用馬中該當馬アラハ其ノ

出場ニ關シ又檢定場ノ開放等ニ就キ復宜ク與ヘラレ度

軍用保護馬檢査日割

期日	場	所	區	域
十二月二日	宜野灣村馬場		西原村	浦添村
十二月三日	中城村後場前		中城村	
十二月四日	北谷村桑江馬場		(讀谷村)	北谷村
十二月五日	越來村胡屋馬場		越來村	美里村

三石作命丁第三八號軍醫部長指示第六項ノ檢査判定ノ標示
 (「飲用適」濾過飲用適)等ヲ爲シアラザル場所アルヲ以テ速ク
 ニ實施セラレ度

古巡察報告ニ白紙一枚ヲ使用シ半面ニ記載ナル向アルモ紙類節用
 ノ折、半切紙トシ兩面使用スル如クセラレ度又當部ニ提出セラル、

報告ニ必ズ部隊號ヲ記入コト

三軍會報中必要事項

ノ球參謀長注意事項

〇〇ニ伴ヒ某兵團ニ於テ三角兵舎材料ヲ梱包材料ニ使用セリ
 三角兵舎材料ノミナラス小建築物ト雖モ總テ引継ぎヲ要ス
 部隊ノ眞價ハ移動中送り等ノ時期ニ現ハルヲ以テ克ク
 立ッ鳥跡ヲ濁サズノ教育ヲ兵ニ到ル迄徹底セシムルコト

ノ球參謀部ヨリ申出ラレバ十一月八日入港セル長山丸八十九日
 荷揚ヲ實施セリ其間ニ於テ球第一六六部隊宛ハ地圖箱
 (長サ一米幅五〇釐厚三〇釐)三個行方不明トナリタリ各部隊ニ於テ
 調査シ心當リアバ參謀部ニ連絡セラレ度

ノ法務部ニ於テ取扱ヘル事件中中繼縣出身初年兵ニテ從軍

免脱ヲ圖リテ一名ハ小銃ヲ以テ股ヲ貫通シ二名ハ左手食指ヲ銃
劍ニテ切斷セルモノアリ原因ハ種々アルモ他府縣ノ兵ト言語ノ相
違ト能力低キニ原因スルヲ以テ初年兵教育ハ注意セラレ度
又憲兵分隊ヨリノ申出ヨレバ

イ芋、砂糖黍等食シテ歩行スル下士官兵アリ注意セラレ度
ロ開襟軍用襦袢ヲ地方人ニ與ヘタル例アリ被服不足ノ現狀ニ
鑑ミ嚴ニ注意セラレ度

大巡察報告中ノ如キ事項アリ
ノ石第三五九三部隊杉江上等兵ノ荷馬車ノ使用ハ掌握確實
行動整然トシテ良好ナリ(五月三十一日)
之球第一三〇三部隊熊谷常吉上等兵ノ服裝態度不良ニシテ敬
禮又嚴正トス(五月三十一日)

石第四三四部隊木地富夫一等兵ハ上官ヲ認ムルモ敬禮ヲナサズ
又自轉車ノハンドルニ銃ヲ結ビタルハ不可ナリ(五月三十一日)

球第一三〇三部隊市橋伍長以下伊祖東方ニ作業中砂糖黍
ヲ採食シヤリ(五月三十一日)

石第五三三五部隊山本上等兵ハ腰ニ手拭ヒラ下ケ階級章ノ星ヲ
脱シタル儘ノ服裝ニテ公用外出シヤリ(五月三十一日)

正沖繩縣出身タル今次入隊兵中入院患者ノ還送ハ極力見合
セテ現地ニテ處置セラレ度旨當部ヨリ球部隊ニ照會中ニシテ
近ク回答アルヘシト豫想セラルニ付承知ノコト

本島支隊
大 山田參謀八上月五日附羅南師團參謀ニ補セラレタリ、
十九 十月三十一日石師團第八六號ハ鹽通式官物盜難ノ弊風矯正ノ爲
ニ特ニ指示セラレタルモノナルニ付各部隊ハ指導ヲ適切ニシ過數品

ハ返納ノ不足品ハ支給シ兵營生活ノ暗翳ノ一名所謂マシヨ
ヲ防止シ以テ私的制裁犯行ノ原因除去ニ勉メラレ度

配布先 中隊連各部班

第九〇號

石兵團會報

十二月四日一六〇
浦添國民學校

十二月二日早朝牧港附近道路上(宮城)ニ於テ左記物品ヲ拾
得テ目下石第三五九五部隊ニ保管シヤルニ付心當リ度
該隊ニ連絡セラレ度

左

記

腰吊圖囊 一個

收入品

現金 貳百參拾圓六拾八錢

口述 系ト刻スル印鑑 一個

新潮社文庫 一冊 (天町辻歩尉ト記入セアリ)

慰安所ニ關シ左ノ如ク改定スルニ付各部隊ハ適宜實施セラレ度
石兵團會報第百九號ニテ慰安所料金ヲ五月五日ヨリ左ノ如ク改メ

一時間 半夜 一 夜

兵 一五〇

